

グループ税務方針

1. 基本方針

フジシールグループ（以下 FSG）は、「包んで〈価値〉を、日々新たなところで〈創造〉します」を経営理念に掲げ、「FSG 倫理綱領」において、事業活動を行う各国・地域のあらゆる適用法令、規則を遵守し、誠実かつ倫理的に事業活動を行うこと（コンプライアンス）を基本方針としています。

税務に関しても、FSG 各社が事業活動を行う各国・地域の税法・規則を遵守し、社内ルールに基づく税務処理の実行を通じて、適法にして適正な納税を行います。これにより、ステークホルダーとの信頼関係を構築するとともに、各国・地域の経済発展に貢献してまいります。

2. 税務コンプライアンス

FSG は、グループ会社が事業活動を行う各国・地域の税務関連法令等を遵守し、適正な金額による申告・納税を行います。また、OECD による BEPS（Base Erosion and Profit Shifting）プロジェクト等の国際的な取り組み・考え方に準拠します。

FSG は、税務の正確性を期するために、関連する法令・ルールに準拠した適正な経理業務を行います。

3. 税務ガバナンス

当方針は、フジシールインターナショナル（以下 FSI）取締役会が策定するとともに、FSG における税務上の課題については、必要に応じて FSI 取締役会及び監査委員会で報告・審議します。

なお、FSG の税務ガバナンスの体制構築及び運営の責任者は FSI の財務担当執行役とし、様々な税務上の課題は、FSI 財務経理部門及び各国・地域の財務経理部門が対応することとします。

4. 税務プランニング及びタックスヘイブン

FSG は、事業活動を反映した公正、適正な税務プランニングを行います。また各国・地域の税務関連法令等を遵守した上で、優遇税制等を適切に活用することにより、税務コストの最適化に努めます。

FSG は、タックスヘイブンを利用した租税回避行為や事業実態に合致しない税務プランニングは行いません。

5. 税務リスクの最小化

グローバルな事業活動や税制が複雑化する状況において、税務上の解釈が不明確な取引が生じる場合があります。FSG では、事業活動の中で税務上の解釈が不明確な取引が生じた場合、税理士法人等外部の専門家と十分な検討を行い、また必要に応じて税務当局に対して事前に確認することにより、税務リスクを最小化するように努めます。

6. 移転価格

FSG は、グループ会社間の国際取引において、グループ会社の機能、資産およびリスクの分析等に基づき、その貢献に応じた適切な利益配分を独立企業間価格に基づいて設定すると共に、その独立企業間価格については OECD 移転価格ガイドラインに基づき算定します。また、各国・地域の移転価格税制に即した適切な移転価格文書を作成します。

7. 税務当局との関係性・税の透明性の確保

FSG は、税務当局からの問合せや情報提供要請について誠実に対応し、税務当局と健全な関係を構築・維持することに努めます。

FSG は、税務業務に伴う不確実性の低減及び税の透明性を確保するため、合理的な説明が可能な税務処理を行います。各国・地域の税務当局との見解の相違が生じた場合には、建設的な対話を通じて、その解消に努めます。また、過去に税務当局から指導を受けた項目については、再発防止策を講じます。

制 定 2021 年 2 月 24 日

【参考】 地域別法人税額（2022 年 3 月期分）

